

# 山梨の土地改良

VOL. 176 2021.1



## CONTENTS

第14回やまなし農村風景写真コンクール入選 菊池和夫様「日の当たる部屋」撮影場所：塩山市

ごあいさつ	会長・内藤久夫	1
新年の挨拶	山梨県農政部長・坂内啓二	2
新年の挨拶	山梨県農政部耕地課長・茂手木知	3
新年にあたって	全国土地改良事業団体連合会 会長・二階俊博	4
新年の挨拶	都道府県水土里ネット会長会議顧問・進藤金日子	5
新年の挨拶	都道府県水土里ネット会長会議顧問・宮崎雅夫	6

農業農村整備の集い	7
土地改良区複式簿記導入促進特別研修会	8
令和2年度 監事会及び理事会の開催	8
農業農村整備関係の令和2年度補正予算及び令和3年度予算の概算決定額	9
第14回やまなし農村風景写真コンクール入賞作品	10
新年の御挨拶 / 技術向上及び資格獲得への取り組み	11

# ごあいさつ

山梨県土地改良事業団体連合会

会 長 内藤 久夫



皆様方には、平素より本会の業務運営並びに本県の農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援とご尽力を賜りお礼申し上げます。

本年も役員、会員の皆様はもとより、関係各位のご支援を得まして会の運営を行って参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策により、様々な方面で影響が出ており、全国土地改良大会をはじめ各種会議、研修会等が軒並み中止、延期となりました。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願いたいものです。

さて、農業・農村は、安全で安心な食料を供給する場であるとともに、国土の保全、豊かな自然環境、安らぎのある農村環境の形成等の多面的機能を有しており、国民生活に大変重要な役割を果たしております。

国においては、我が国の食と活力ある農業農村を次の世代につなぐために、昨年3月に新たな「食料、農業、農村基本計画」を閣議決定し、現在それに基づく様々な取り組みがなされています。

そのような中、令和3年度の農業農村整備関係予算概算額については、令和2年度補正額と併せ総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靱化対策1,155億円、TPP対策700億円）が確保され、昨年より142.1%の伸びとなっており、改めて農業農村整備事業の重要さを感じております。

山梨県においても、新たに本県農業振興の指針となる、「やまなし農業基本計画」を策定し、『生産者の所得向上』を目指し、「稼ぐ力を最大限発揮できる環境整備」、「豊かで活気ある農山村の創造」という2つの目標の達成に向けて、成長産業化に向けた担い手の確保・育成、力強い農業を支える基盤整備

等の施策を柱に取り組んでいくこととしております。

しかしながら、山梨県の農業は、近年、新規就農者や企業の農業参入、農業生産法人数の増加など明るい兆しが見える一方で、担い手の高齢化や減少、後継者不足等が深刻な問題となっており、特に中山間地域では、この傾向がより進行しており、農家の意欲減退が懸念されるところです。

そのため、競争力を高めるための基盤整備、農地中間管理機構と連携した担い手への農地集積等と併せ、中山間地域の所得向上につながるきめ細かい基盤整備や環境整備、防災・減災対策等の推進が強く求められています。

本会においても、国や県の施策に呼応し、地域の実情を踏まえた支援に努め、農業の成長産業化と農山村の活性化の実現に向け、国、県、市町村をはじめとする関係機関との連携を図り、会員の皆様方のニーズに応えられるよう農業農村の更なる振興と発展に努めて参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 新年の挨拶

山梨県農政部

部長 坂内 啓二



新年明けましておめでとうございます。謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

また、日頃から、県農政並びに農業農村整備事業の推進に格段の御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年からは、新型コロナウイルス感染症拡大という、過去に経験したことのない事態に直面しており、未だ収束の見えない状況の中、農業分野のみならず各方面に大きな影響を及ぼしております。

そのような中で、職場においてはテレワークの普及などが進み、従来の働き方が少しずつ変化しており、農村地域で働きながら休暇を取得するワーケーションも見られるところです。

また、家で食事をする機会も増えていることから、食への関心が高まり安全・安心な国産農産物が改めて評価されるなど、農業・農村への期待はこれまで以上に大きくなっております。

県では新たな取り組みとして、土壌中への炭素貯留により、大気中の二酸化炭素の濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組みである「4パーミルイニシアチブ」に昨年4月、地方自治体として初めて参加いたしました。

現在は、県産果実の付加価値を向上させる手段の一つとして、本県の果樹農業への普及を目指すこととし、剪定枝の炭などを活用するための試験研究や実証実験に取り組んでいるところです。

これは農業の懐の深さを体現する新たな取り組みであり、今後、消費者への浸透も図りながら、「環境に優しい果物」として山梨の新しいブランドを目指して参ります。

そして、これらを支える農業農村整備事業の分野では、農地中間管理機構と連携した多様な中心経営体等への農地集積・集約化を推進するとともに、本

県農業の基幹となる果樹産地等における再編整備を進め、農作業の省力化や農作物の高品質化を促進するための基盤整備を実施して参ります。

また、近年は、台風や豪雨による災害など、自然災害が激甚化、頻発化しており、昨年の7月豪雨では九州地方を中心に広い範囲で災害があったことは記憶に新しいところです。このため、未然に災害を防止するための農村地域の防災・減災対策はまさに喫緊の課題であります。

特に国では農業用ため池について、昨年10月に「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行され、集中的かつ計画的に農業用ため池の防災工事等を推進することとしており、県では、この制度を活用し積極的かつ計画的に整備を進めて参ります。

また、昨年12月に防災・減災国土強靱化の取り組みの加速化・深化を図るため、「3か年緊急対策」に続き、令和7年度までの5年間、強靱化に資する事業に重点的・集中的に対策を実施するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定したところであり、県ではこの動きに即応し、農業農村整備事業の分野において、老朽化した排水機場の更新整備や農業用排水路等の整備を積極的に進めて参ります。

本年も、「やまなし農業」を元気にし、農業を成長産業に導くため、県農政部一丸となり、積極果敢にチャレンジして参りますので、皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と、本年が皆様にとりまして希望に満ちた幸多い年となりますよう心より御祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

## 新年の挨拶

山梨県農政部耕地課

課長 茂手木 知



新年明けましておめでとうございます。

山梨県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、常日頃より、農業農村整備事業の推進にあたりまして、多くのお力添えをいただいておりますことに心より御礼申し上げます。

昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症拡大は、今でも予断を許さないところですが、必ずやこの状況を乗り越え、明るい未来が訪れることを願っております。

農業農村整備事業の分野での昨年の動きとして10月に、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が施行されました。

農業用ため池は、水田農業を支える重要な施設ですが、豪雨や地震により被災すると、甚大な被害を及ぼすことから、これを未然に防止する対策が必要となります。

昨年の7月豪雨では、全国で16のため池が決壊や損傷の被害を受けたところであり、このような報道を耳にすると本県でもため池の下流域に暮らす住民の方々は少なからず不安を覚えたことと思います。

この特別措置法では、防災重点農業用ため池に係る対策工事を集中的かつ計画的に推進するため、国の必要な財政上の措置と地方債への配慮が盛り込まれました。県ではこれに呼応し、法律の期限である令和12年度末までに県内の防災重点農業用ため池の整備を完了することとし、事業化に向けた調査費を増額するなど、体制を整えたところです。

また、国では昨年12月に「防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定したところであり、令和7年度までの5年間で重点的・集中的に対策を実施するとして、初年度は令和2年度第3

次補正予算で対応することとなり、農業農村整備事業においては、老朽化した排水機場の更新整備や農業用排水路等の整備を実施することとしています。

これらの施策を着実に進めていくためには、農業農村整備事業の予算をしっかりと確保することが重要であります。

国の農業農村整備事業予算も、令和2年度補正予算と令和3年度当初予算を合わせると約6,300億円となり、このコロナ禍の中においても昨年度を上回る予算規模となりました。このことは、貴会役員の皆様の力強い要請活動のおかげであり、ここに厚く御礼を申し上げます。県と致しましても、しっかりと13ヶ月予算として必要額を確保するよう取り組んで参りますので、引き続き御協力をお願いいたします。

結びに、山梨県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう心より御祈念申し上げまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会

会 長 二階 俊博



令和三年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、七月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立って頂いていることについて、心から敬意を表します。

全国で三十二カ所のため池が決壊した「平成三十年七月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年六月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様の御尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和三年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、四四四五億円を確保することができました。さらに、令和二年度の補正予算を含めると六三〇〇億円となります。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな五か年加速化対策として、十五兆円が予算化されることとなりま

した。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

## 新年の挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子



新年明けましておめでとうございます。山梨県の皆様には、昨年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進する

こととしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

昨年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

山梨県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 新年の挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫



明けましておめでとうございます。山梨県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年は全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな回復や復旧に向け私も最大限の努力をしております。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さま方ご関心の、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の三か年緊急対策に続き令和7年度までの五か年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら、総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靱化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月開会の

通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せて生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、山梨県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶といたします。

# 農業農村整備の集い

～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～



二階俊博 全国土地改良事業団体連合会会長挨拶

萩原丈巳水土里ネット女性の会会長事例発表



11月20日、東京都千代田区、砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにおいて、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の主催で、「農業農村の集い“農を守り、地方を創る予算の確保にむけて”」が開催され、コロナ禍の中、国会議員を含め全国から農業農村整備事業関係者約400名が参加しました。農林水産省からは、野上浩太郎農林水産大臣、葉梨康弘農林水産副大臣、牧元幸司農村振興局長、奥田透同局次長ら幹部が出席。

二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長は、主催者の挨拶で、「令和2年7月豪雨や台風による被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が重要であり、より一層の“闘う土地改良を推進し、農家の方々の期待に応えるように、一致団結して頑張ろう。」と述べました。

祝辞では、野上浩太郎農林水産大臣、佐藤勉自由民主党総務会長、森山裕自由民主党国会対策委員長、塩屋立農林・食料戦略調査会長、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・進藤金日子参議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問・宮崎雅夫参議院議員が挨拶を行い、予算確保や土地改良の推進への尽力を誓い、また、要請案文を群馬県土地改良事業団体連合会・村上行正常務理事が朗読し、全会一致で採択しました。

事例発表では水土里ネット女性の会・萩原丈巳会長（水土里ネットやまなし総務課長）が「全国水土里ネット女性の会」設立状況と活動方針を報告、今後も土地改良分野における女性の活躍を推進していこうと訴えました。

終わりに群馬県土地改良事業団体連合会・熊川栄会長による令和3年度予算確保に向けたガンバロウ三唱を行い、参加者全員が予算確保へ一致団結を誓い集いは、盛会裏に終了した。

閉会后、各都道府県の代表が政府、国会議員に向け要請活動を行いました。



# 令和 2 年度 山梨県土地改良区複式簿記導入促進特別研修会

12月1日山梨県自治会館講堂において、本会主催の令和2年度山梨県土地改良区複式簿記導入促進特別研修会が新型コロナウイルス感染症「全土連感染防止要領」に基づき、感染防止対策を十分にいき実施されました。

この研修は、土地改良法の改正にともない土地改良区の貸借対照表の作成が義務化される令和4年度へ向けて、複式簿記への円滑な移行を実現することを目的に「土地改良区強化体制事業実施要綱」により開催され、全国各県で開催されています。

研修会には、土地改良区役職員、県担当職員、市町村担当者60名の参加がありました。



複式簿記導入促進特別研修会

研 修 科 目	講 師
1. 資産評価マニュアル等	全国土地改良事業団体連合会 支援部 主幹 田中 克哉
2. 会計細則等見直し等	全国土地改良事業団体連合会 支援部 参与 田村 栄二
3. 開始貸借対照表の作成	全国土地改良事業団体連合会 支援部 参与 田村 栄二
4. 財務諸表等の作成手順	全国土地改良事業団体連合会 支援部 主幹 田中 克哉

# 令和2年度 山梨県土地改良事業団体連合会 監事会及び理事会の開催

監事会・監査会は10月28日(水)土地連役員室で、理事会は11月6日(金)「ホテル談露館」で開催されました。

監事会では、1.令和2年度監事会及び監査計画について、2.理事間の契約について(利益相反)、以上の2議案が承認されました。監査会では、1.令和元年度事業報告・収入支出決算について、2.令和2年度の執行状況並びに会計経理の状況について説明し証憑書類等で監査を実施した結果、いずれも承認されました。

理事会では内藤久夫会長を議長に、議事を進行。1.令和元年度事業報告・収入支出決算並びに財産目録の承認について、2.令和2年度事業並びに収入支出中間報告についての2議案が監査報告の後、全会一致で承認されました。



監事会・監査会



理事会

理事会終了後に長崎幸太郎知事(若林一紀副知事)他、県幹部に対して農業農村整備事業が計画的に進められるよう、令和3年度当初予算の確保、また近年全国でも台風等の集中豪雨や地震による被害が発生しており、県内でも台風による甚大な被害が頻発していることから、農村地域の防災・減災対策の推進を要請しました。



若林一紀山梨県副知事



坂内啓二農政部長

# 農業農村整備事業関係の

## 令和2年度補正予算及び令和3年度予算の概算決定の概要

昨年末に閣議において、農業の競争力強化に向けた経済対策の実行に向け、令和3年度予算が概算決定され、農林水産省の予算総額は23,050億円となりました。

令和3年度農業農村整備事業予算概算額は当初4,445億円、令和2年度補正予算（国土強靱化加速

化対策1,155億円、TPP対策700億円）を併せ6,300億円を確保しました。

国の農業農村整備事業に係る団体、関係者が財務省、農林水産省、政府与党、国会議員に、全国よりコロナ禍のなか要請活動を行った成果と思います。

### 令和3年度 農村振興局関係予算 概算決定の概要

(単位：億円)

事 項	令和2年度 当初予算額 A	令和2年度 補正予算額	令和3年度 概算決定額 B	対前年度比
				B/A (%)
公共事業	4,326	2,873	4,263	98.5%
農業農村整備事業	3,264	1,855	3,333	102.1%
農山漁村地域整備交付金	943	—	807	85.6%
海岸事業	36	1	39	108.7%
災害復旧事業	83	1,017	84	101.2%
非公共事業	1,553	24	1,559	100.4%
予算総額	5,879	2,897	5,822	99.0%

- (注) 1 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
2 令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額である。  
3 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。  
4 農山漁村地域整備交付金は、林野庁及び水産庁分を含む農林水産省全体の額である。

### 農業農村整備事業関係予算決定の概要

(単位：億円)

	令和2年度 当初予算額	令和3年度 概算決定額 A	令和3年度 概算決定額 B	合 計 A+B
農業農村整備事業（公共）	3,264	3,333 (102.1%)	1,855	5,188 (158.9%)
農業農村整備関連事業（非公共）	508	518 (102.0%)		518 (102.0%)
〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 〕				
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	661	595 (90.0%)		595 (90.0%)
計	4,433	4,445 (90.0%)	1,855	6,300 (142.1%)

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。  
2 令和2年度当初予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額である。  
3 令和2年度補正額はTPP関連対策及び防災・減災、国土強靱化の推進のための対策が対象。  
4 農山漁村交付金は情報通信環境整備対策及び最適土地利用対策である。



## 第14回

### やまなし農村風景写真コンクール入賞作品



第14回は「未来に繋ぐやまなしの農村風景」をテーマに募集したところ、風情ある農村の四季の他、賑やかで活気のある農村の暮らしや伝統の祭り、歓喜あふれる収穫の表情や農作業中の微笑ましい情景などの作品、たくさんの応募があり厳正な審査の結果知事賞をはじめ入賞作品22点が決定しました。入賞作品は、山梨県農政部耕地課のHPに掲載しています。

#### ■山梨県知事賞 「未来に繋ぐ」

渡邊 輝実様（忍野村）／撮影場所：北杜市



#### ■審査委員長賞 「農作業を終えて」

大柴 力様（韮崎市）／撮影場所：北杜市



#### ■農政部長賞 「稲架け」

小澤 己江子様（甲斐市）／撮影場所：北杜市

### 第14回やまなし農村風景写真コンクール 受賞者

賞	受賞者	住所	作品名
季節賞（春）	文珠川 史	甲府市	芳春の郷
季節賞（夏）	井沢 雄治	埼玉県	トウモロコシ収穫
季節賞（秋）	古橋 隆宏	中央市	収穫を終えて
季節賞（冬）	河西 茂彦	南アルプス市	新雪の山村風景
入選	相川 よし美	甲州市	シャインの下でダンス
入選	秋山 真吾	甲府市	子供達とブドウ狩り
入選	岩澤 文男	甲府市	五穀豊穡を願う
入選	岡田 泰文	甲斐市	桃源郷
入選	河西 啓	富士吉田市	霜からまわる火
入選	菊池 和夫	上野原市	日の当たる部屋
入選	流石 由紀	昭和町	Green World 2020

賞	受賞者	住所	作品名
入選	志村 孝	南アルプス市	スーパームーン（月）田棚を照らす
入選	鈴木 定	神奈川県	家族で田植え
入選	星野 郁男	上野原市	徳和天神祭の日
入選	村上 敏幸	大月市	薄化粧
入選	諸星 重明	神奈川県	収穫の朝
入選	山中 一彦	甲斐市	眩しいルビー色の桜桃
入選	横森 賢治	韮崎市	冬の白い花
入選	渡辺 浩志	中央市	美味しいワイン醸造に向けて～新しいぶどう畑づくり～

※敬称は略させていただきます。  
※入選は、あいうえお願。



新年の御挨拶

謹んで新年のご祝詞を申し上げます  
本年もよろしくお願い申し上げます

令和3年1月

## 山梨県土地改良事業団体連合会 (水土里ネットやまなし)

会 長	韮崎市 内藤 久夫		
副 会 長	笛吹市 山下 政樹		
副 会 長	中央市 田中 久雄		
専務理事	学識経験者 渡邊 祥司		
理 事	甲斐市 保坂 武	理 事	都留市 堀内 富久
理 事	笛吹川沿岸土地改良区理事長 (山梨市長) 高木 晴雄	理 事	甲州市 鈴木 幹夫
理 事	南部町 佐野 和広	理 事	富士川町 志村 学
理 事	小菅村 船木 直美		
総括監事	上野原土地改良区理事長	奈良 明彦	
監 事	楯無堰土地改良区理事長	今村 正城	
監 事	徳島堰土地改良区理事長	藤原 芳洋	
	他職員一同		

### 技術力向上及び資格取得への取り組み

本会では、技術研修会への参加、職場内での勉強会をとおして、職員の技術力向上及び資格取得に努めております。しかしながら昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染抑制を踏まえ多くの職員が資格試験の受験ができませんでした。

会員の皆様の信頼を得られるよう技術力向上、各種資格取得に努め、成果品の品質確保に努めて参る所存です。

### 行事予定表

2 / 17	土地連 監事会・監査会 土地連役員室
2 / 26	土地連 理事会 アピオ甲府
3 / 24	山梨県土地改良事業団体連合会第63回総会 山梨県自治会館講堂
3 / 25	全国土地改良事業団体連合会第63回総会 東京都

## 農業農村 整備事業は

- 調査設計・測量
- 換地確定測量
- 農業集落排水事業  
(ストックマネジメント)
- 水土里情報システム

## 山梨県土地改良事業団体連合会へ

建設コンサル登録：農業土木部門



山梨の土地改良 VOL.176

発行：令和3年1月

発行者：山梨県土地改良事業団体連合会  
〒400-8587 山梨県甲府市蓬沢1丁目15番35号 自治会館5階  
TEL 055-235-3653 FAX 055-228-8174  
URL : <http://www.yamanashi-doren.or.jp>  
E-mail : [syomu@yamanashi-doren.or.jp](mailto:syomu@yamanashi-doren.or.jp)

